TYPE OF INDUSTRY

モノづくり基盤・成長企業

ジェンダー・ギャップ指数

日本の男女平等度は世界的に見てどのレベルにあるか。今回はこの問いについて考えてみたい。

今年11月、世界経済フォーラムは2017年版「ジェンダー・ギャップ指数」を公表した。これは各国における男女格差を数値化したものであり、経済（労働力率、所得や管理職・専門職への登用等の男女比）、教育（識字率や初中高等教育就学率の男女比）、健康（新生児の性比、平均寿命の男女比）、政治（国会議員や閣僚の男女比、過去50年間の国家元首在任年数における男女比）の4分野のデータから作成される。

日本は144カ国中114位であり、前年より三つ順位を下げた。先進7カ国（G7）の中では最下位である。ちなみに1位はアイスランド、2位はノルウェーである。

なぜ日本のランクは低いのだろうか。足を引っ張っているのは経済（114位）と政治（123位）の分野である。15年には「女性活躍推進法」が成立するなど、女性活躍に向けた動きは加速している。しかし、いまだに性別役割分業意識が根強く残る日本では、女性が男性並みに就労したり政治に参画したりすることが難しいという現実もある。

つまり、日本の女性は健康であり、一定の教育を受けているにもかかわらず、その潜在能力を発揮できていないと言える。長時間働くことを是とする風潮の排除や、出産等でキャリアロスを起こさないような制度の整備、男女双方に対する啓発機会の充実などが求められよう。

そして、この格差は女性だけの問題ではないことにも留意したい。「男は仕事、女は家庭」という固定観念がついて回れば、負担を感じる男性もいるだろう。そもそも何らかの格差を許容している社会は健全とは言えまい。

ランキングに振り回されては本末転倒であるが、誰もが尊重され、持てる力を存分に発揮できる社会の実現に向け、ジェンダー・ギャップ指数は気にかけておきたい数値である。

（火曜日に掲載）

本日も東奔西走　中小企業診断士からの応援歌　132

女性が能力発揮できる社会に

中小企業診断士　高橋　美紀

ちょっと訪問

アビリティ・インタービジネス・ソリューションズ

知財管理の概念打破

アビリティ・インタービジネス・ソリューションズは、翻訳・通訳サービスと知的財産サポートサービスを展開する。現在は、知的財産に関わる事務処理や管理をアウトソーシングするサービスの普及に力を入れている。

知財に関わる事務処理業務はこれまで自社内で行うのが当然のこととされてきた。また派遣社員で対応することに躊躇する企業も多い。そういった中で「アウトソーシングの仕組みは先進的で、固定概念を打ち破りたい」（森島直己社長）とし、現在は「知財まるごと管理」サービスの売り込みに拍車をかけている。

セキュリティー対策を組み込んだ安全なクラウドシステムと、特許事務専門スタッフの活用でアウトソーシングを実現した。富士通の主要販社でも取り扱うことが決まり、「企業に提案し続けて実績を作るだけ」（同）と意欲を見せる。

森島社長

▽所在地＝広島市中区東平塚町1の14、082・241・7532▽資本金＝2000万円▽売上高＝9億500万円（17年6月期）▽従業員＝90人▽設立＝03年（平15）1月

あいHD　顔認証で入退室管理

高精度3Dシステム投入

あいホールディングスは、入退室や出退勤の管理システムに最適な3次元（3D）顔認証するシステム「3DGarm（スリーディーガルム）」を下旬から発売する。3Dの顔認証は可視カメラと赤外線カメラと独自アルゴリズムで、目の周辺の逆三角形地帯を中心に7000点を数値化し登録。登録時間は1秒以内で済む。他人受け入れ率（FAR）は100万分の1で、本人拒否率（FRR）は100分の1以下といい高精度に認証する。

販売価格はオープン価格だが、3DGarm1台、2000件データ管理で月額5000円（消費税抜き）から（設置費・回線費用は含まず）。販売はグループ会社のドッドウエル ビー・エム・エス（東京都中央区、佐々木秀吉社長）が行い、監視カメラやカード発券機で強みとする病院やマンションなどに提案する。

顔認証システム「3DGarm」

3DGarmは、中国・北京にある漢王科技が開発した3D顔認証装置に、あいホールディングス傘下企業らが運用管理ソフトウエアを加えクラウド上で扱えるようカスタマイズした。例えば、全国展開するホテルであれば、顧客の顔認証を登録しておけば顧客がどの地域のホテルを利用してもフロントでキーをもらわなくてもスムーズに部屋に入れるという。非接触ICカードリーダーを搭載し、強固なセキュリティーが構築できる。あいホールディングスはIoT（モノのインターネット）をグループ創出の機会と捉え、2017年2月にIoT推進室を設けた。3DGarmは第1弾となる商材で、今後は計測機器との連動などを視野に入れている。

東日本で規格品通販 拡大

モロフジ　群馬・伊勢崎に物流拠点

【福岡】モロフジ（福岡県筑紫野市、諸藤俊郎社長、092・924・0003）は、通信販売による規格品の包装用品などの販売を強化する。東日本エリアでの早期納入に対応した物流拠点の整備や商品ラインアップの拡充により、2021年8月期までに規格品通販部門で売上高10億円を目指す。

物流網整備のため群馬県伊勢崎市に開設した「関東物流センター＝写真」は自社の電子商取引（EC）サイトで展開する小ロット品や安価な規格品など約5000種類をそろえる。延べ床面積約1000平方㍍、投資額は約500万円。関東や東北、東海など東日本エリアの受注に対応する。同センターの増床や新たな物流拠点の設置も検討しながら事業の拡大を図る。

これまで同社は福岡県筑紫野市の物流拠点から全国へ配送していた。だが受注量の多い首都圏の顧客への翌日配送による早期納入などが課題だった。

同社は主にオーダーメードや小ロット生産のポリエチレンバッグなど包装用品の製造を手がける。17年8月度の売上高は約24億円。

福井製作所

大手入れぬ分野

福井製作所はガスタンクや化学プラントなどに使われる安全弁の専業メーカー。液化天然ガス（LNG）運搬船やガス液化設備、発電設備などに供給し、世界のエネルギー分野を支える。納入先は80カ国以上。売上高の8割が海外向けで、1992年に参入したLNG船市場では世界首位を誇る。

発電設備用の超高温・超高圧からLNG船向けの極低温・微圧まで、陸海の幅広いエネルギー領域に対応する技術を磨いてきた。社長の福井洋は「大手企業が入れない分野」と自負する。協力企業と連携し17カ国にメンテナンス拠点を置き、サービス体制は万全だ。

安全弁は性能が顧客の生産活動に直接影響する重要部品。流体の漏れを抑えながら、一定の圧力で作動させなければならない。同社は独自の溶接技術を培い、シール性と強靱性を両立した。世界最大級の発電設備向け蒸気試験設備を持ち、製品の技術を検証できる。

成長企業チカラの源泉　107

安全弁専業で世界支える

提案力高め新分野開拓

社長
福井　洋氏

生産に特化

商社機能もあったが、2000年に安全弁の生産に特化。07年ごろからエリア別の営業手法を市場別にし、担当者に専門性を持たせた。工場はベテランから若手へ技能伝承を推進。加エプログラムを作成するソフトウエアも導入し、考え工夫する力を養っている。

加えて「情報のアンテナを磨く」ことを重視する。若手と中堅の社員24人が部門を超え、週1回集まり情報を共有。各自の仕事に生かすことで業務が加速し、コミュニケーションも活発になった。

進歩と関わる

福井は「エネルギーの日進月歩に関わっていける」と商機をうかがう。期待するのはLNG関連市場。国際海事機関（IMO）の環境規制を受け、既存船へLNG燃料のシステム搭載が義務付けられた。安全弁の需要増を見込む。燃料電池や水素運搬船といった新分野も開拓する。目下の課題は「エンドユーザーへの直接営業」。提案力を高めている。18年3月発行予定の労働安全衛生に関する国際規格「ISO45001」の取得も目指す。

（敬称略、大阪・窪田美沙）

LNG運搬船向けの安全弁

【企業プロフィル】
▽所在地＝大阪府枚方市招堤田近1の6▽社長＝福井洋氏▽創業＝36年（昭11）4月▽売上高＝74億円（17年3月期）

（火曜日に掲載）

テラス

情報プラッシュ

◆健康経営ドットコム
健康経営セミ
2018年1月29日16時から、東京都渋谷区のフードディスカバリーで、健康経営の始め方を学ぶセミナーを開く。働く環境の整備や健康リスクの解決法などを交えながら、効率的に健康経営を立ち上げる手段を実践形式で紹介する。定員30人で、参加無料。事前の申し込みが必要。問い合わせは事務局のエルステッドインターナショナル（03・6453・9600）へ。

大泉さん

着実な普及誓う

▽…「追加での注文が増えている」と喜ぶのは、工作機械などの洗浄液や切削液に含むスラッジの回収装置を製造する産機テクノス（東京都港区）専務の大泉東さん。これまで半日程度かかっていた掃除作業が数十分に短縮できることから、リピーターが増えたと分析。「航空機や自動車部品を作る部署からもオーダーが来た」と手応えを口にする。

▽…本社オフィスのスペースを拡張することで、ショールームを設けるなど、提案力を高めた。「まだ1カ月あたりの出荷台数に波がある。これを安定させたい」と着実な普及を誓う。

わが社のモットー

◎はやり廃りが激しいIT業界にあって、過去の投資を無駄にしないサステイナブルなシステム刷新提案
ランサ・ジャパン米ランサホールディングスの100%子会社。ソフトウエア開発ツールの販売、サポートを手がける。「はやり廃りが激しいIT業界にあって、過去の投資を無駄にしないサステイナブルなシステム刷新提案」がモットー。ITという手段を利用することで、顧客の抱える問題を解決することを理念としている。（東京都千代田区、中村哲社長、03・5275・1201）

◎位置情報サービスで世界に挑戦
ケイ・シー・シーネットショッピングサイトなどのアプリケーション開発や通信ネットワークシステムの開発などの事業を展開。「位置情報サービスで世界に挑戦」がモット一。システム開発・構築の実績から得た技術やノウハウを生かして位置情報サービスの新たな市場に挑戦する。全国のマラソンやお祭りなどのイベントに活用されるスマートフォンアプリ「いまどこ＋」の開発・運用も推進。（東京都江東区、阿部孝彦社長、03・5646・9121）

HAPPY NEWS 2017

募集中！

大賞は賞金30万円！

伝えたい！
新聞で見つけたHAPPYな気持ち

新聞を広げると、
目に飛び込んできた1枚の写真。
子どもたちの笑い声が
今にも聞こえてきそうで、
わくわくしました。
心に残る記事との出合いが
楽しみです。

「HAPPY NEWS 2016」大賞受賞
財満純子さん（広島県）

2016年の受賞作は よんどく！ 検索 で

私たちが審査します！［ゲスト審査員］

小山 薫堂さん（放送作家、脚本家）
須田亜香里さん（SKE48）
森本 千絵さん（アートディレクター）
山本 昌さん（元プロ野球選手、スポーツコメンテーター）

◉応募方法
読んだ記事の切り抜き（記事を撮影した写真も可）を同封のうえ、記事を読んでのコメント（200～400字程度）をお寄せください。▽読んだ紙面の掲載日、掲載紙名、朝・夕刊の別▽郵便番号▽住所▽氏名▽年齢▽性別▽職業▽電話番号――を併せてお書きください。
家族での応募も歓迎です。小中高校生は、親子やきょうだいなど家族で応募してください。
※応募作品は返却しません。

◉応募対象
2017年3月1日～2018年2月4日の新聞に掲載された記事や写真、広告。

◉応募締め切り
2018年2月5日（月）必着

◉発表
受賞結果は、2018年4月6日の「新聞をヨム日」にあわせて新聞各紙や新聞協会ウェブサイトなどで発表します。

◉応募先
郵　送　〒100-8543　東京都千代田区内幸町2-2-1　日本新聞協会「HAPPY NEWS」係　電話03-3591-4637
メール　happynews0406@pressnet.or.jp
ウェブサイト「よんどく！」の専用フォームからも応募できます。
※いただいた個人情報は、当キャンペーン以外に使用しません。

一般社団法人 日本新聞協会